

第66回埋蔵文化財研究集会開催要項

1 テーマ 「幕藩体制下の瓦 ―近世都市遺跡における生産と流通―」

2 趣 旨

近世遺跡の発掘調査で一般的に出土する瓦については、山崎信二氏の著作『近世瓦の研究』(同成社、2008年)などによって全国的な動向の把握が試みられ、格段に理解が深まった。しかし、とくにその後半期において、まだまだ考古遺物として十分に評価されていないように思う。ただ、こうした研究の未成熟さのいっぽうで、近世遺跡の発掘調査に携わったことがある者ならば、その歴史資料としての潜在的な価値は誰しも直感的に認識しうるだろう。

そこで今回の研究集会では、近世瓦が有する歴史資料としての価値を正當に評価するために、生産と流通という観点から、各地の近世都市遺跡における基礎研究を蓄積することを目的とする。具体的には、城郭・城下町・寺院といった、特定の領域が想定しうる近世都市遺跡における瓦の変遷について、製作技法・瓦当文様・胎土・寸法・搬入・搬出といった基本的な観点から分析を加えたい。時期については、江戸時代全般を対象とし、とりわけ棧瓦の発生と普及が都市景観に与えた影響について注意を払う。さらに、可能であれば、幕藩体制との関係など史的背景についても考察を試みたい。

3 開催日時 平成29年9月16日(土)・17日(日)

4 会 場 大阪歴史博物館 第1研修室

5 主 催 埋蔵文化財研究会

6 共 催 大阪歴史博物館(予定)

7 事務局 第66回埋蔵文化財研究集会実行委員会事務局

TEL 090-9865-9450

担当：市川 創

Email : itsukuru@hera.eonet.ne.jp

8. プログラム

9月16日(土曜日)

12:00 受付

13:00 開会

13:10 講演 「江戸の瓦生産と近世瓦の展開」
金子 智【(株)乃村工藝社】

14:30 事例報告1 「近世瓦の生産と流通ー建造物を素材とした研究事例ー」
鳴海祥博【元 公益財団法人 和歌山県文化財センター】
武内雅人【元 和歌山県教育委員会】

15:10 休憩

15:20 事例報告2 「大和の近世瓦」
芦田淳一【総持寺】

16:00 事例報告3 「熊本城出土の近世瓦ー刻印瓦と瓦師を中心にー」
美濃口紀子【熊本市経済観光局 熊本城総合事務所
熊本城調査研究センター】

16:45 1日目終了

17:30 情報交換会

9月17日(日曜日)

9:30 受付

10:00 事例報告5 「大坂における近世瓦の生産と流通」市川 創【大阪府教育庁】

10:40 事例報告6 「中国地方における近世瓦の生産と流通」
乗岡 実【岡山市教育委員会】

11:20 事例報告7 「四国における近世瓦の生産と流通ー讃岐地域を中心にー」
渡邊 誠【高松市埋蔵文化財センター】

12:00 昼食

12:50 講演「文献史料からみた近世大阪の瓦生産と流通」豆谷浩之【大阪歴史博物館】

13:40~15:00 討論

15:00 閉会挨拶

9 誌上発表

- 「江戸遺跡から出土した搬入瓦について」山崎吉弘【羽生市教育委員会】
- 「福井県内出土の近世瓦」中原義史【福井県埋蔵文化財調査センター】
- 「南山城地域における棧瓦の成立と瓦師の展開」
杉本 宏【京都造形芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター】
- 「近世京都の公家屋敷跡出土瓦―近年の発掘調査の成果を含めて―」
李 銀眞【公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所】
- 「京都大学構内遺跡出土の近世瓦―幕末藩邸関係資料を中心に―」
内記 理【京都大学文化財総合研究センター】
- 「刻印瓦と株仲間記録からみた近世堺の瓦生産者の動向」
嶋谷和彦【堺市文化観光局文化部文化財課】
- 「明石城跡の近世瓦について」池田征弘【兵庫県立考古博物館】
- 「福岡城出土の近世瓦について」赤坂 亨【福岡市経済観光文化局史跡整備活用課】
- 「近世小倉城郭と城下町に葺かれた瓦について―生産・流通・消費の諸相―」
佐藤浩司【公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室】
- 「長崎の近世瓦について」伊藤敬太郎【国際文化財株式会社】
- 「幕末段階における豊後海部郡細村瓦師の動向」吉田 寛【大分県教育庁埋蔵文化財センター】
- 「近世和泉における油の生産と都市大坂の流通構造」
島崎未央【大阪市立大学都市文化研究センター】

10 資料集

- 遺跡から出土した資料を中心として、近世瓦に捺された刻印瓦を全国的に集成し、資料集を作成します。